

赤松節子 あまつ せつ子 社會運動家。明治三十二年八月十一日山口縣生れ、昭和四十年七月二十一日歿（二八七—一九五五）。別名赤松のね子。赤松克麿の妹。大正十年京都女子專門學校中退。十四年日本労働總同盟に入り、女子労働者の争議を指導。昭和七年社會人衆婦人同盟委員長、二十一年参議院議員（當選二回）、翌年厚生行政次官、三十五年民社黨総裁に參加。

著書『わが母を語る』（合著・家庭新聞社編輯局）新妻伊都子論、昭和十七年十一月二日家庭新聞社出版部）等。

